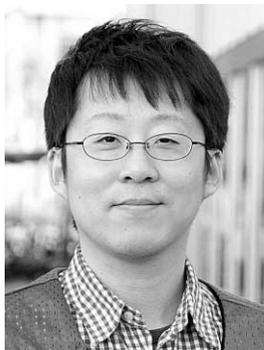


NPOはたらく!

第7回

NPOの仕事って? NPOで働くって? NPO職員のナマの声を紹介します。



しらかわ よういち
白川 陽一さん

所属団体
特定非営利活動法人
子ども&まちネット

所属年数
・職員: 4年
・活動年数: 7年

今はどんな仕事をしていますか?

「子ども&まちネット」に所属し、名古屋市青少年交流プラザ(ユースクエア)で勤務しています。ユースクエアは、青少年の社会参加活動の促進や地域・世代間交流など、さまざまな活動を応援する拠点施設で、私は主にイベントや講座の企画・運営、地域・まちと施設をつなぐコーディネートをしています。子ども・若者の社会参加・参画を進めることは、「子ども&まちネット」が大事にしていることでもあります。

ここで関わる若者たちが社会に出ていくときに、自信をもって進んでほしい、人生で困りごとに直面することも多いけど、それを何とか切り抜ける力をつけてほしいと思っています。その力をつける応援を「ユースワーカー」という立場でしています。

今のような仕事に興味を持ったきっかけを教えてください。

北海道の教育大学に通っていた頃から、学校ではないところでの学びに興味がありました。自分が興味のあることをしっかり学びたい気持ちが強くて、大学外の場所での学びを求めている部分もあります。子どもたちと遊ぶサークルで活動したり、宿泊型青年の家でボランティアをしたり、学外の講座などにも積極的に参加していました。

また、大学2年生になって心理学研究室に入ったときに、臨床心理士でもあった大学の先生に出会ったのですが、彼は大学のそばの古民家でフリースペースを主宰していました。そこは、学校に行っていない子もいれば、地域の人もいる「たまり場」になっていて、大学生や大学院生も出入りしていました。その場で、おのおのが成長していく姿を目の当たりにしたことが、その後の私の活動にも影響を与えていると思います。

ユースクエアでも、青少年の居場所づくり事業として「ぼくらのサードプレイス」という講座がありますが、私自身が学生の頃からサードプレイス(家でも学校・職場でもない第三の居場所)の大切さを感じていました。

NPOで働いてみて、どうですか?

教員をしていたときと時間の使い方は変わりました。でも、やりたいことや、やっていることは、あまり変化していないと思います。これまでの活動と地続きで、今までやってきたことが集合している感じですね。人とのつながりも学んできたことも、すべてがつながっていて、活動にいきていると思います。

これからは、ユースクエアでやろうとしていること(ユースワーカー)の独自性をもっと広く知ってもらえるようにしたいと思っています。ヨーロッパでは、ユースクエアのような施設はユースセンターと呼ばれ、社会の入り口になっています。単に若者が集まる場ではなく、意味のあるつながりを生むたまり場です。今、私がユースクエアを説明しようとするとき、他のたまり場やイベント・講座を開催している別の施設などと比較しないと難しいと感じるのですが、本来はとても独自性・専門性をもつ施設です。それを伝えていきたいですね。



若者グループ『ユースクエア企画委員会』のメンバーと